# 最近、パケットのようすがちょっとおかしいんだが。

にTF for ヒ"キ"ナース"

ネットワーク講習

※タイトルと内容は関係ないかもしれません

#### 自己紹介

- 保要 隆明 (ほよう たかあき)
- 理工系大学院 修士課程1年
- CTF team : \*\*\*\*\*\*
- twitter: @takahoyo (ほよたか)
- 好きなツール: Wireshark, Nmap



#### 本日の内容

- CTFの問題【ネットワーク】
- パケット・通信プロトコルについて
- Wiresharkの使い方
- 今後のレベルアップするためには

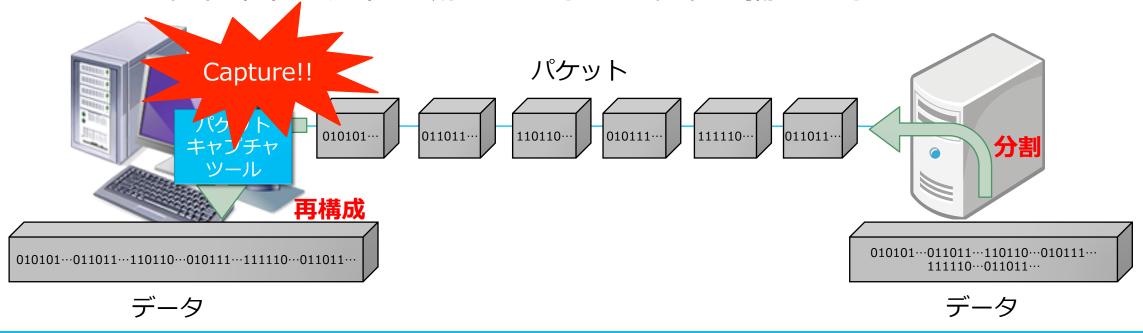
#### CTFの問題【ネットワーク】

- pcap(pcap-ng)ファイルが与えられる問題
  - ネットワークパケット
  - USBパケット
  - これらのパケットを解析する
  - 解析して、時には解析した情報からサーバへアクセス
- サーバにアクセスして通信を調べる問題
  - パケットキャプチャする
  - 普通にアクセスするだけでなくパケットの中身を操作することも

#### ネットワークのプロトコルに関する知識が重要!!

# パケット(packet)とは

- ・ 直訳 → 小包、小箱の意味
- ネットワーク上には分割されたデータ = パケットが流れている
- パケットキャプチャ = 流れているパケットを捕まえる



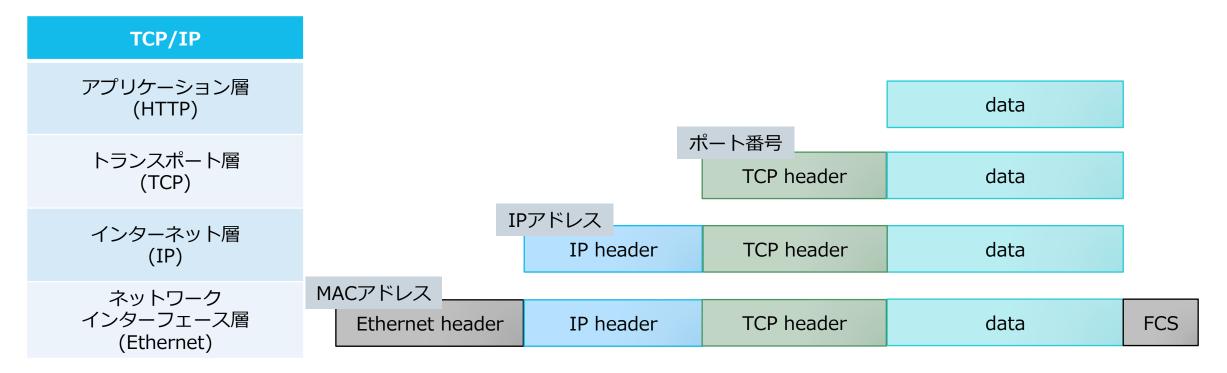
## 通信プロトコル

- 通信は、プロトコルという決まりによって行われる
- 通信プロトコルは、役割ごとに階層が分かれている

OSI参照モデル	TCP/IP	主なプロトコル
アプリケーション層	アプリケーション層	
プレゼンテーション層		HTTP, FTP, SMTP, POP3 TELNET, SSH, DNS
セッション層		,,,
トランスポート層	トランスポート層	TCP, UDP
ネットワーク層	インターネット層	IP, ICMP
データリンク層	ネットワーク インターフェース層	Ethornot ADD
物理層		Ethernet, ARP

# 通信プロトコルとパケットの構造

• 各プロトコルの階層ごとに制御情報(Header)が付与



# pcap(pcap-ng)ファイル?

- キャプチャしたパケットを記録したファイル
- fileコマンドすると…

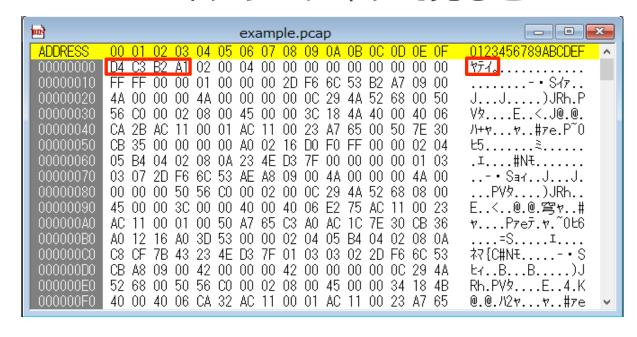
```
$ file example.pcap
example.pcap: tcpdump capture file (little-endian) - version 2.4 (Ethernet, capture length 65535)
```

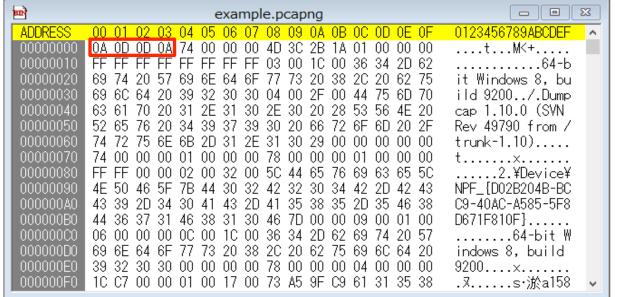
```
$ file example.pcapng
example.pcapng: pcap-ng capture file - version 1.0
```

※ Macのfileコマンドだと、pcap-ngファイルはdataとして扱われる

# pcap(pcap-ng)ファイル?

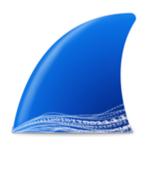
バイナリエディタで見ると…





# pcapファイルを見るためには…

- ネットワーク解析ツールを利用する
- 主な解析ツール
  - Wireshark (Windows, OS X, Linux)
  - Network Miner (Windows)
- 今回はWiresharkの使い方を主に説明

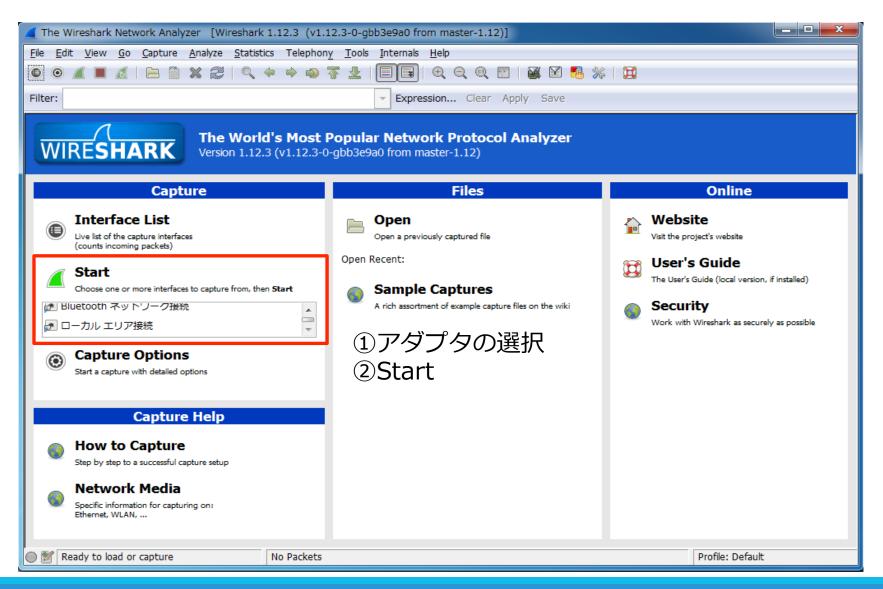


### Wireshark

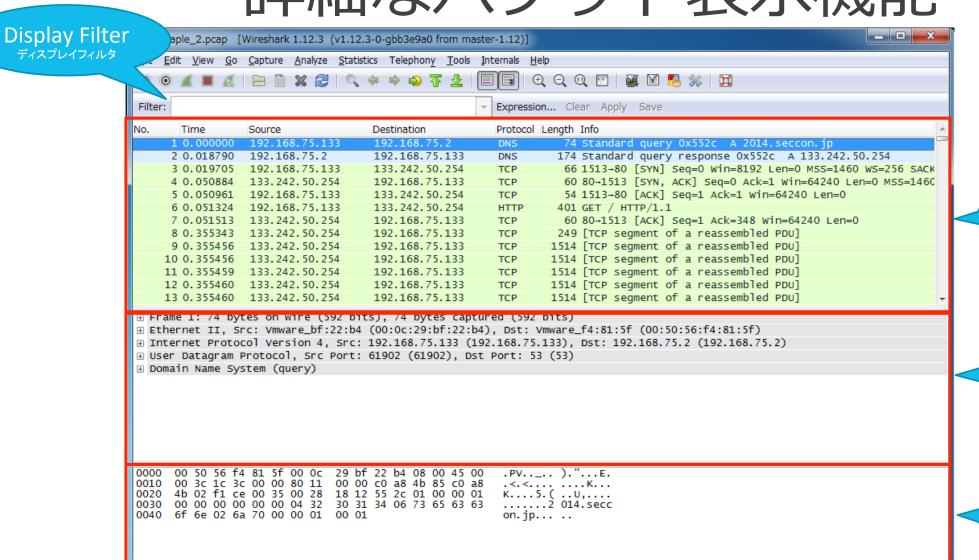
#### Wiresharkの主な機能

- ネットワークを流れるパケットをキャプチャ
- キャプチャしたパケットを表示する
- 表示したパケットを解析する
  - 指定した条件でフィルタリング
  - パケットからファイルを抽出
  - TCPやUDPのデータ部分(ペイロード)を取り出す
  - 通信を行ってるIPアドレスの統計を表示
  - その他にもいろいろ(紹介したらキリがない)

# パケットキャプチャ機能



## 詳細なパケット表示機能



○ 🌠 File: "\\ymware-host\Shared Folders\ ドキ... Packets: 466 · Displayed: 466 (100.0%) · Load time: 0:00.062

Packet List パケットの一覧

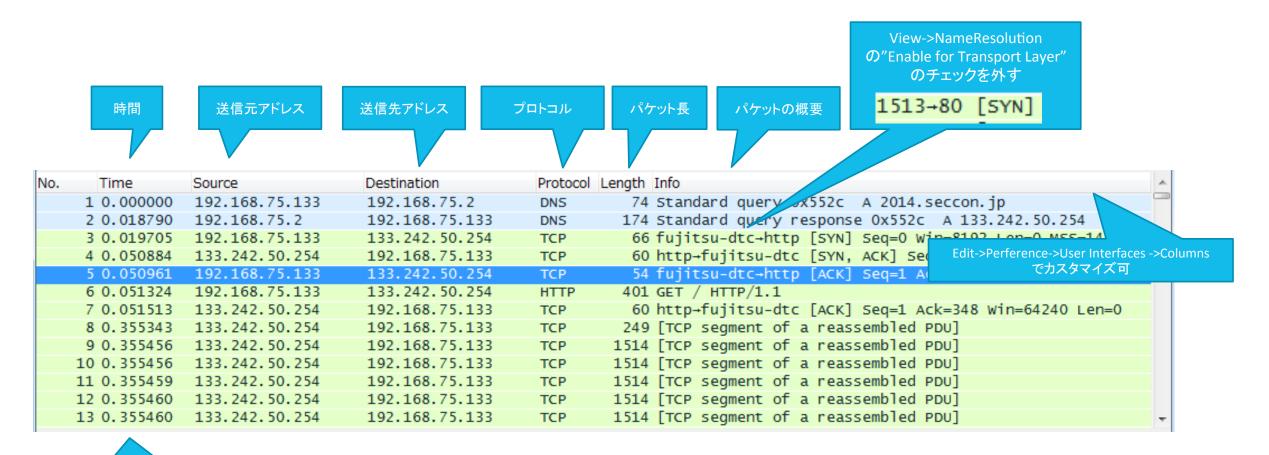
Packet Details パケットの詳細

Packet Bytes 生のパケット

15/02/20 14

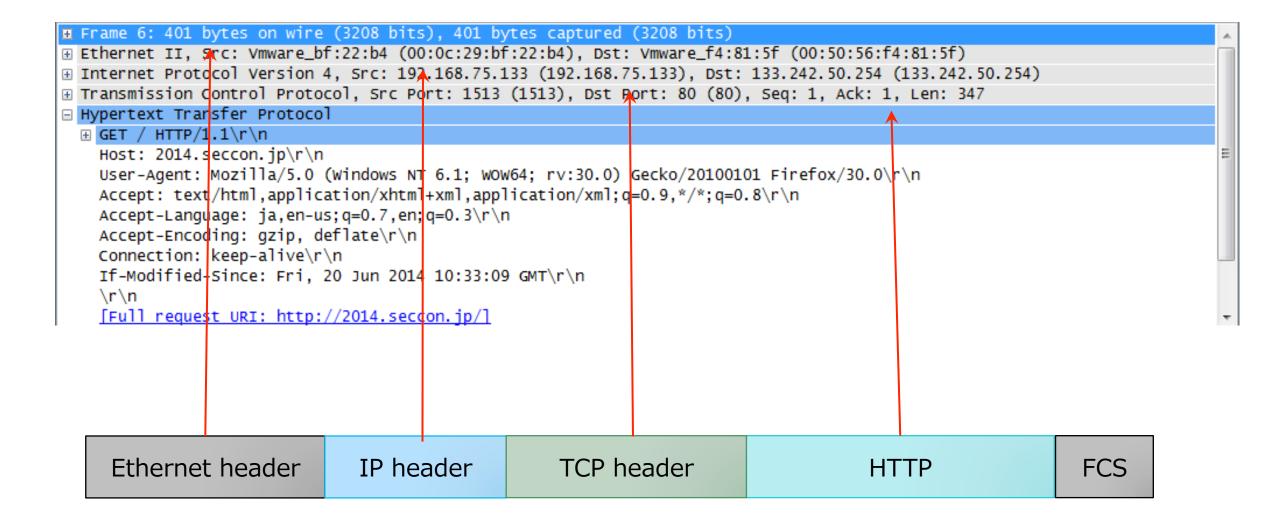
Profile: Default

# Packet List (パケット一覧)



View->Time Display Format で形式を変更可

# Packet Details (パケットの詳細)



# Packet Bytes (生のパケット)

- 通常の人間には読みづらい形式(16進数)
- Wiresharkが解析し、整形してくれている

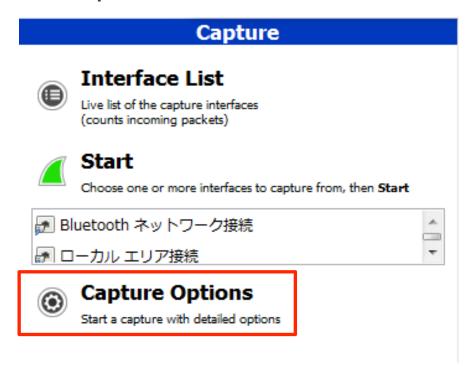
```
0000
0010
                                               4b
0020
0030
0040
                                                                ^{/}1.1..Ac cept: te
0050
                                                               xt/html,
                                                                          applica
0060
                                                               tion/xht ml+xml,
0070
                                                                */*..Acc ept-Lang
0080
                              61
                                                               uage: ja -JP..Use
0090
00a0
                                                                /5.0 (co mpatible
00b0
                                                                         .0; Wind
00c0
                                                               ows NT 6
00d0
                                                                  Tride nt/5.0).
00e0
                                                                .Accept- Encodina
00f0
                                                                         deflate.
0100
                                                                .Host: 2 014.secc
```

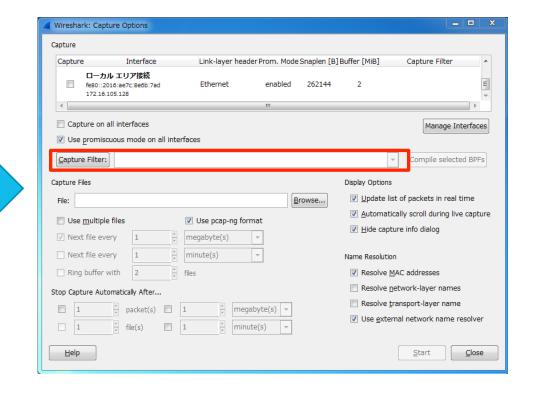
#### 【目的別】Wiresharkの使い方

- 条件にあった通信を抜き出したい → Filter
- TCPが送信されるデータを抜きたい → Follow TCP Streams
- HTTPで扱ってるファイルを抽出 → Export Object->HTTP
- パケットから生データ抽出 → Export Selected Packet Bytes
- パケットの様々な統計を知りたい → Statistics

#### Filter

Capture Filter





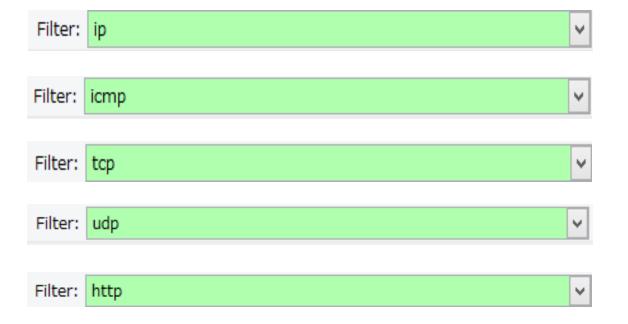
Display Filter



#### Filter

- Capture Filter
  - パケットキャプチャを始める前に指定
  - キャプチャしたいパケットが決まっている時に有効
  - 無駄なパケットをとらなくて済む
- Display Filter
  - ・ パケット表示画面で指定(パケットキャプチャしながら指定可能)
  - キャプチャ中もキャプチャ後もFilterをかけることが可能
- 各フィルタで書式が違う!!

- プロトコルの指定
- 例
  - IPを使ってるパケットのみ
  - ICMPを使ってるパケットのみ
  - TCPを使ってるパケットのみ
  - UDPを使ってるパケットのみ
  - HTTPを使ってるパケットのみ



- プロトコルの要素でフィルタリング
- 例
- TCPの80番ポートを利用している通信をフィルタ
  - tcp.port == 80
- IPアドレスが133.242.50.254の通信をフィルタ
  - ip.addr == 133.242.50.254
- IPアドレスが133.242.50.254で、TCP80番ポートの通信
  - ip.addr == 133.242.50.254 && tcp.port == 80
- TCPでSYNフラグが立っているパケットをフィルタ
  - tcp.flags.syn == 1

#### よく使う(独断と偏見)フィルタの構文

フィルタ	意味
ip.addr == IPアドレス	IPアドレス
ip.src == IPアドレス	送信元のIPアドレス
ip.dst == IPアドレス	送信先のIPアドレス
tcp.flags $== 0x02$	TCPパケット(syn)
tcp.flags == 0x12	TCPパケット(syn/ack)
tcp.flags $== 0x14$	TCPパケット(rst/ack)
tcp.port == ポート番号	TCPのポート番号
tcp.srcport == ポート番号	TCPの送信元ポート番号
tcp.dstport == ポート番号	TCPの送信先ポート番号
http.request	HTTPのリクエスト
http.responce	HTTPのレスポンス

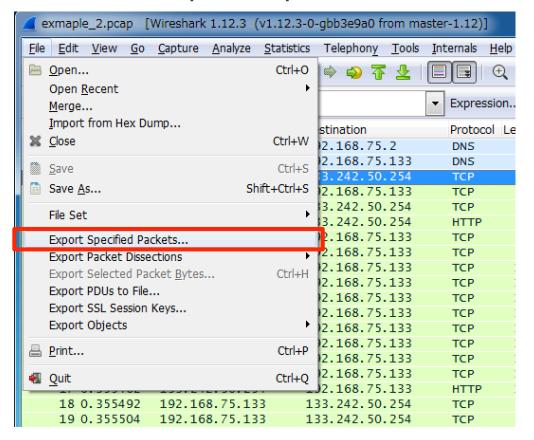
#### 比較演算子

比較演算子	意味
eq (==)	等しい
ne (!=)	等しくない
gt (>)	大きい
It (<)	小さい
ge (>=)	以上
le (<=)	以下

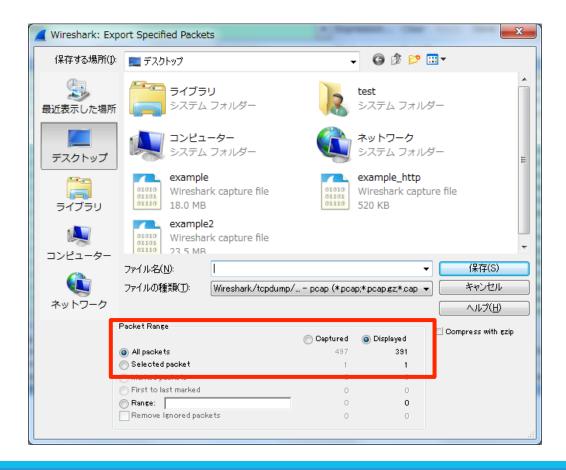
#### 論理演算子

論理演算子	意味
and (&&)	論理積 (かつ)
or (  )	論理和 (または)
not (!)	否定

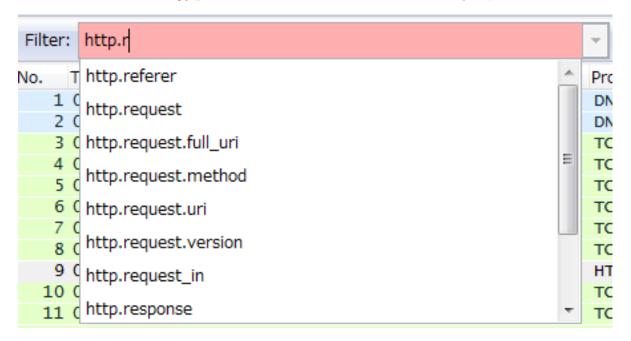
- Display Filterしたパケットを保存することも可能
- File -> Export Specified Packets





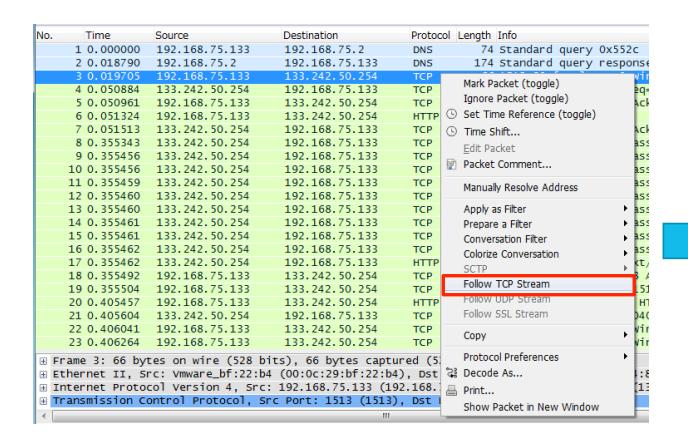


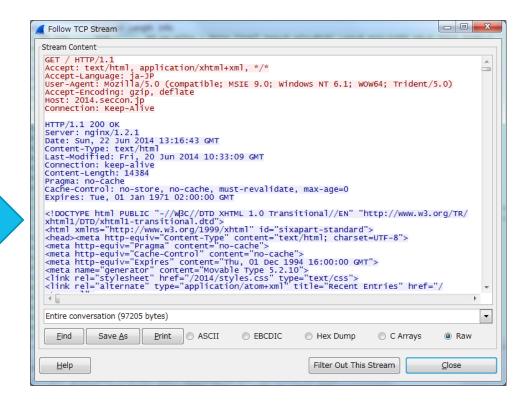
- フィルタの構文忘れた -> 補完機能
- 構文が間違っていると、ウインドウが赤くなる
- 絞りたい情報があるけど、構文がわからん
- → 補完機能でそれらしき構文を選んでみて、試してみる



### TCPで送信されるデータを抜きたい

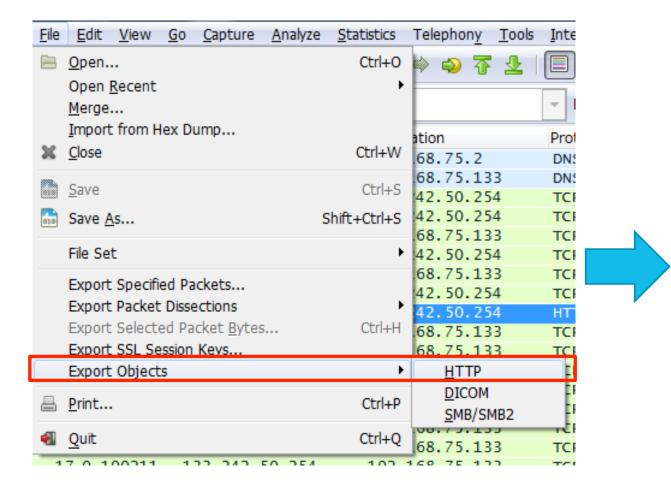
• TCPパケットを選択し、右クリック -> Follow TCP Stream

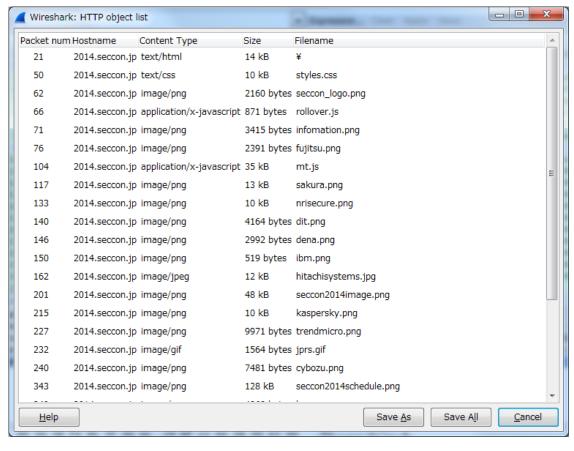




#### HTTPで取り扱ってるファイルを抽出

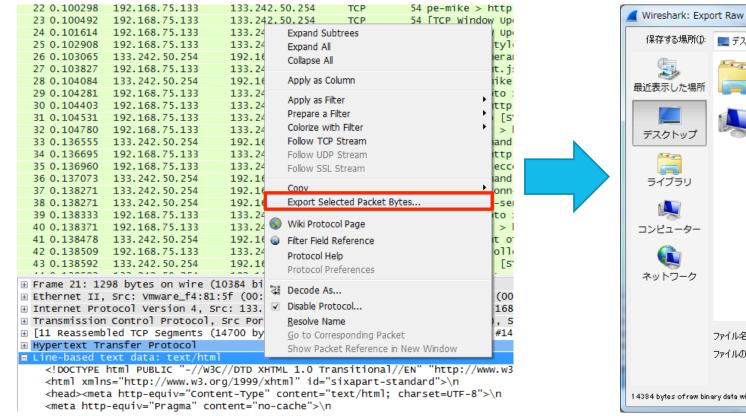
File -> Export Objects -> HTTP

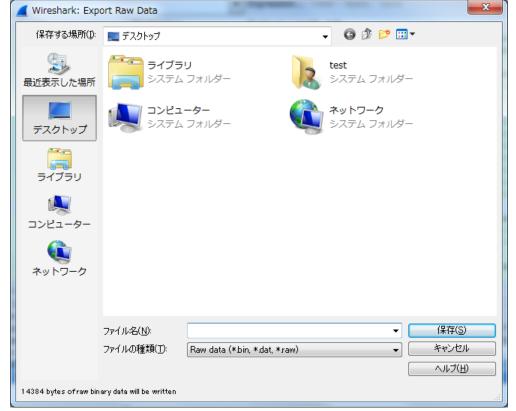




## パケットから生データを抽出

- パケットの詳細画面で、抽出したい部分を右クリック
  - -> Export Selected Packet Bytes

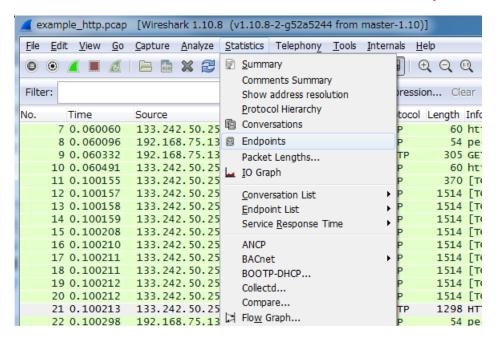




### パケットの様々な統計を知りたい

#### Statistics

- IPアドレスとドメイン名の関係を知りたい → Show address resolution
- 利用されているプロトコルの統計を知りたい → Protocol Hierarchy
- どの端末がどの端末と通信しているかの統計を知りたい → Conversations
- どのような端末が通信しているかの統計を知りたい → Endpoints



#### IPアドレスとドメイン名の関係を知りたい

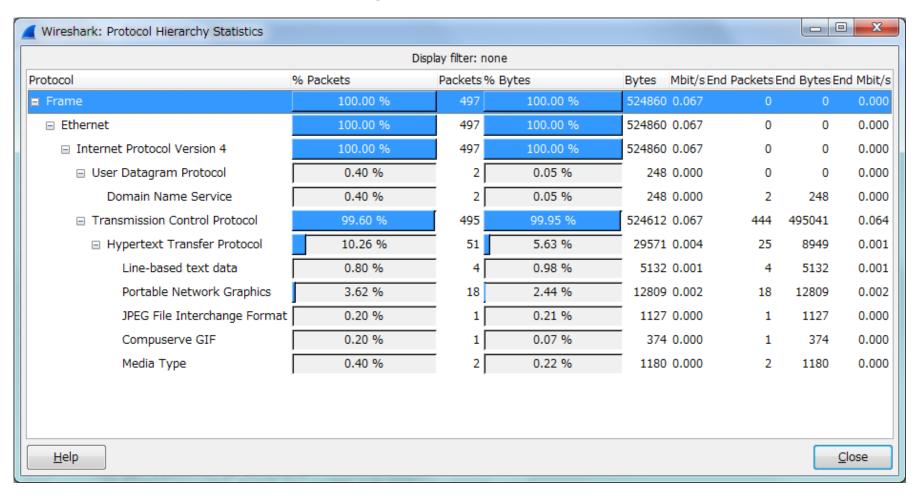
Statistics -> Show address resolution

```
    Address Resolution

# Hosts information in Wireshark
# Host data gathered from C:\Users\taka\Desktop\exmaple_2.pcap
153.122.18.41 ns2.value-domain.com
133.242.50.254 2014.seccon.jp
119.245.243.94 ns1.value-domain.com
# Address resolution IPv4 Hash table
# With 5 entries
Key:0x854ba8c0 IP: 192.168.75.133, Name: 192.168.75.133
Key:0x24ba8c0 IP: 192.168.75.2, Name: 192.168.75.2
Key:0x29127a99 IP: 153.122.18.41, Name: ns2.value-domain.com
Key:0xfe32f285 IP: 133.242.50.254, Name: 2014.seccon.jp
Key:0x5ef3f577 IP: 119.245.243.94, Name: ns1.value-domain.com
# Address resolution IPv6 Hash table
      Help
                                                                                                                    OK
                                                                                                                                    Cancel
```

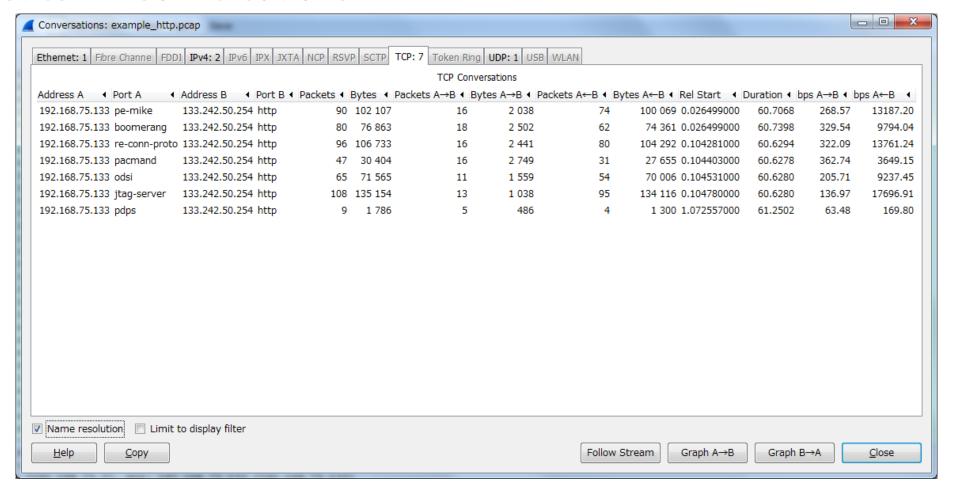
#### 利用されているプロトコルの統計を知りたい

Statistics -> Protocol Hierarchy



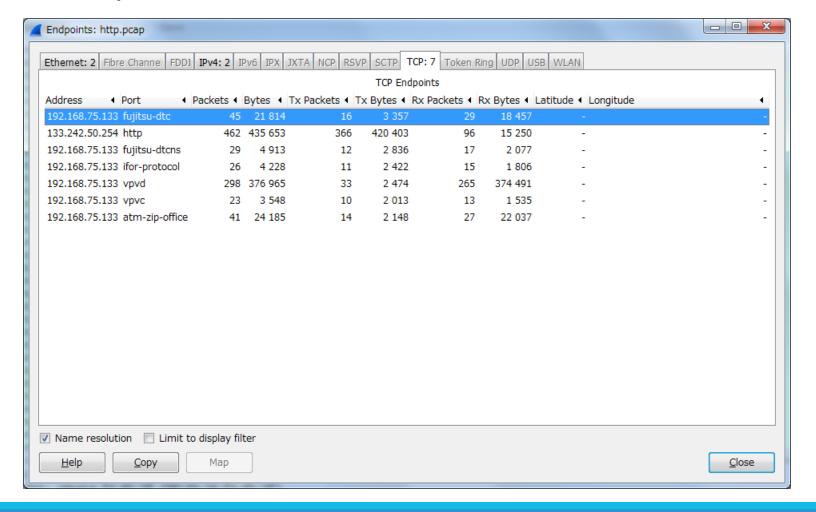
#### どの端末がどの端末と通信しているか統計を知りたい

Statistics -> Conversations



#### どのIPアドレスが記録されてるのか知りたい

Statistics -> Endpoints



#### ネットワーク系の問題へのアプローチ

- 不審な通信を探し、不審な箇所を探す
  - 通常の通信と不審な通信を見分ける目が必要
    - = ネットワークの知識、パケットを見る経験が必要
  - それを見るための手法
    - = Wireshark等のツールの使い方を極める
- 過去問題の解法を知る = Writeupを読む
- パケットを作れるようになる
  - nmap等を利用してポートスキャン
  - hping, Scapyなどで手動でパケット生成

#### もっと勉強したい人は…

- 書籍
  - マスタリングTCP/IP 入門編(オーム社)
    - ネットワークの知識を得たい人に
  - 実践パケット解析(オライリー)
    - もっとパケット解析について知りたい人に
- Webサイト
  - 3分間Networking
    - http://www5e.biglobe.ne.jp/%257eaji/3min/index.html
  - Wireshark公式サイト(英語)
    - http://www.wireshark.org/

### Thank You For Listening

Network Packets Don't Lie.

# Q&A

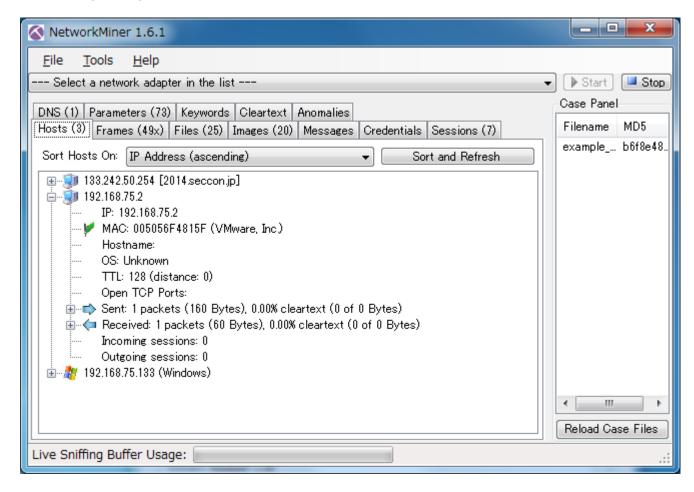
# 付録 1

Network Minerの使い方



# Network Minerの使い方

pcapファイルをドラッグ&ドロップ



### Network Miner

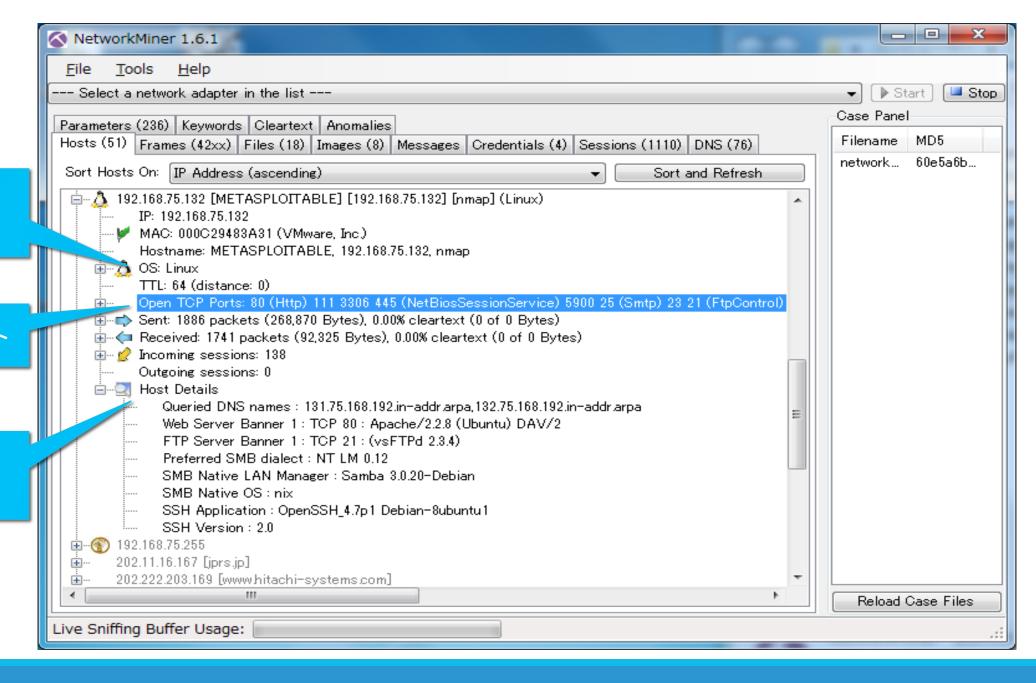
- Network Minerでわかる情報
  - ホスト情報(OS, Open TCP Port, Service name, version)
  - ファイル抽出
  - 画像抽出(サムネイル付き)
  - 認証情報
  - etc···



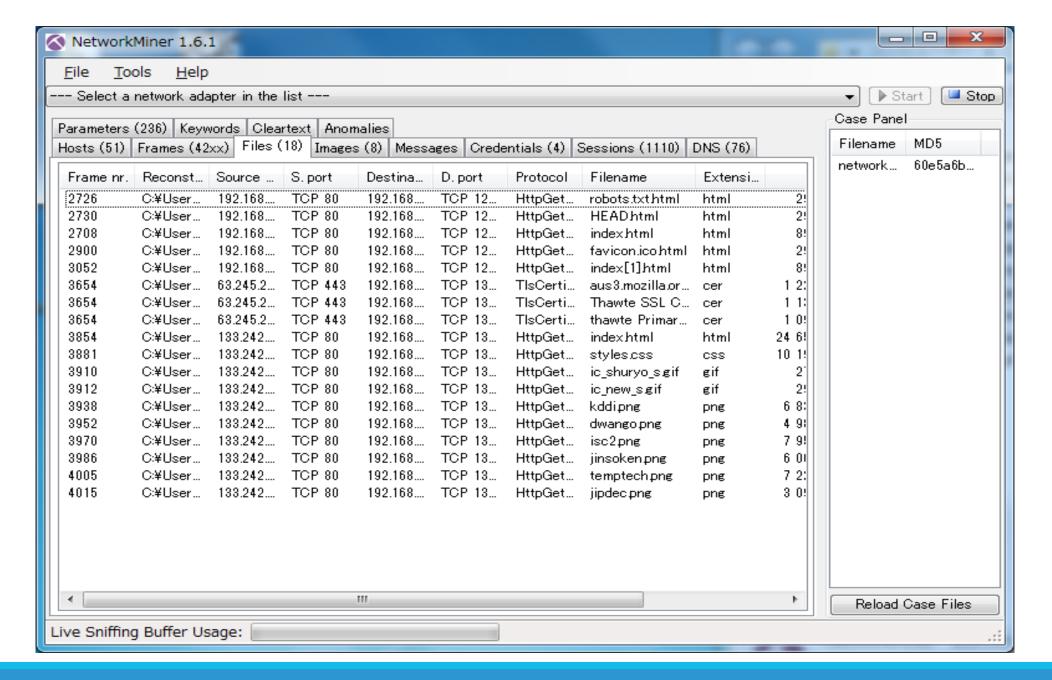
OS種類 (passive finger printing)

開いているポート

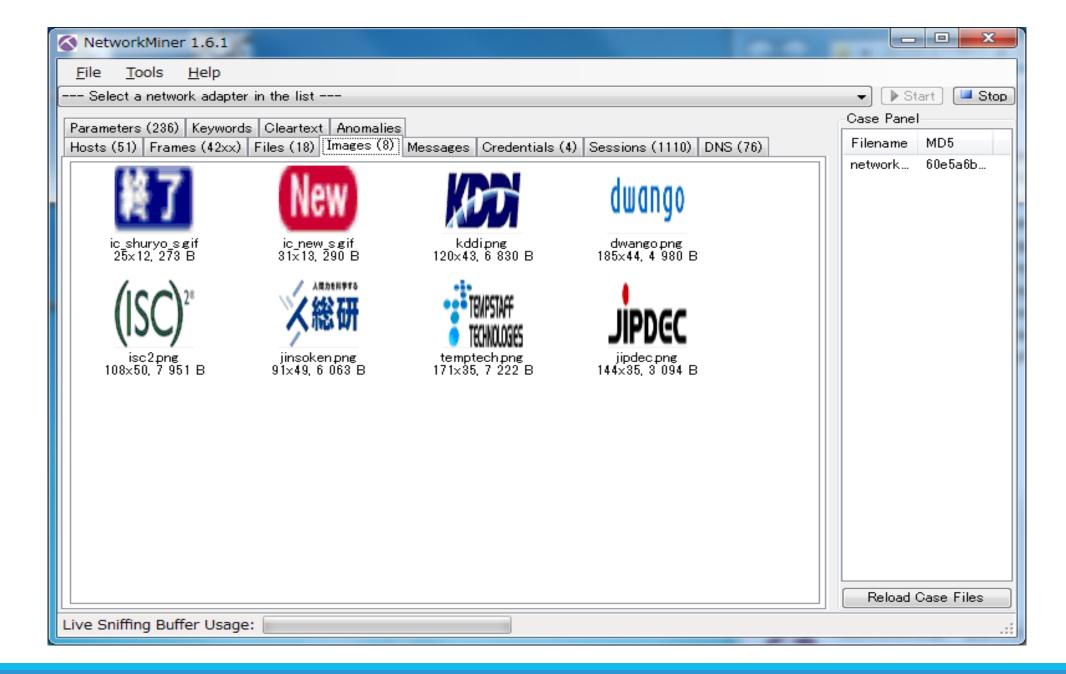
ホストの詳細



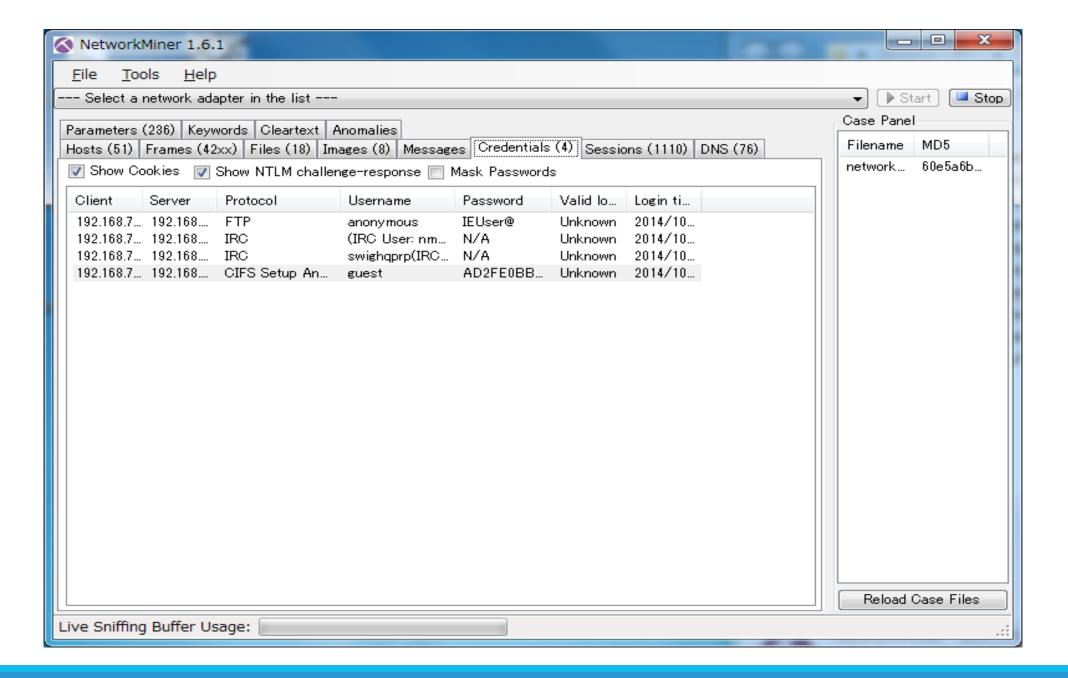
# ファイル 抽出



### 画像



### 認証情報



# Network Miner メリット・デメリット

- メリット
  - ネットワークの知識が少なくても扱いやすい
  - ホストの情報を簡単にパケットから表示
  - 画像のサムネイルが表示できる
- デメリット
  - Windowsでしか使えない(工夫すれば他のOSでも使えるが…)
  - フィルタリング機能がない
  - ネットワークの勉強には不向き
  - pcap-ng形式のファイルは扱えない(有償版なら可)

### WiresharkとNetwork Minerをうまく併用

# 付録2

ネットワーク問題に使えるツール

# パケットキャプチャツール

- <u>tcpdump</u> (Linux, Mac OS XなどのUNIX系OS)
  - CUIでパケットキャプチャ、pcapファイルを簡易表示することも
  - 軽い
  - http://www.tcpdump.org/
- Windump (Windows)
  - tcpdumpのWindows移植版
  - http://www.winpcap.org/windump/
- dumpcap / tshark / Wireshark
  - Wiresharkをダウンロードすると付属
  - dumpcapとtsharkはCUI, WiresharkはGUI
  - 機能的には、dumpcap c tshark c Wireshark

# パケット解析ツール

#### Wireshark

- GUIでパケットキャプチャ、豊富なパケット解析機能
- tcpdumpと比べると重い
- https://www.wireshark.org/

#### Network Miner

- パケットキャプチャ、ファイル抽出機能など
- Wiresharkに比べると機能が少ない
- http://www.netresec.com/?page=NetworkMiner

### Scapy / dpkt

- Pythonのモジュール
- Pcapファイルをパースして、Pythonで解析することが可能
- scapy : <a href="http://www.secdev.org/projects/scapy/">http://www.secdev.org/projects/scapy/</a>
- dpkt : <a href="https://code.google.com/p/dpkt/">https://code.google.com/p/dpkt/</a>





# パケット生成・送信ツール

- nmap
  - ネットワークスキャンツール
  - http://nmap.org/
- hping
  - Pingのようなインターフェースでパケットを生成できる
  - http://www.hping.org/
- Scapy / dpkt
  - パケット関連のPythonライブラリ
  - パケットをパースするのみでなく、パケットの中身を操作して送信できる
- netcat (nc)
  - ネットワークを扱う万能ツール
  - 様々な種類のnetcatが存在する
    - 参考: <a href="http://d.hatena.ne.jp/EijiYoshida/20111109/1320800716">http://d.hatena.ne.jp/EijiYoshida/20111109/1320800716</a>

### Wireshark付属のツール

- editcap
  - pcapngファイルからpcapファイルへの変換
    - 参考: http://divisionbyzero.hatenablog.jp/entry/2012/09/03/223000
  - pcap, pcapngファイルの分割
- mergecap
  - pcap, pcapngファイルの結合
    - 参考: <a href="http://d.hatena.ne.jp/giugno/20110914/1315983399">http://d.hatena.ne.jp/giugno/20110914/1315983399</a>
- text2pcap
  - テキスト形式のパケットをpcap形式に変換

# その他ツール

- pcapfix
  - 破損しているpcapファイルを修復
  - https://f00l.de/pcapfix/
- tcpreplay
  - pcapファイルに保存されているパケットを再送可能
  - pcapファイルのパケットの情報を書き換えることができる機能
  - http://tcpreplay.jp/